

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	子供達の活動スペースが十分確保されているか	7			<ul style="list-style-type: none"> 活動内容ごとにエリア分けを行っている。 利用児個々の状態に応じて活動が出来るようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> 配置基準以上の職員で対応出来ている。 常時個別に支援を行うためには不足している。 複数台での送迎時に現場の手薄さを感じる。
	3	事業所の設備等について、障がい特性に応じた配慮がなされているか	4	3		<ul style="list-style-type: none"> 身体障がいの方へのバリアフリー化は出来ていない。 聴覚過敏の方への防音対策は改良の余地がある。 利用児の特性に応じた配慮はなされている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> 日々の支援の振り返りや情報共有も行っている。 風通しが良く、意見交換がしやすい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの評価結果を受けての改善は行っている。 第3者評価機関は活用していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> 社内研修だけではなく、外部研修にも参加出来ている。 OJT、OFFJT、共に参加する機会が多くあった。
適切 な 支 持	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> 児発管を中心に行っている。
	10	子どもの状況を把握するために、アセスメントツールを使用しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> 複数のアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			<ul style="list-style-type: none"> 日々の朝礼で行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> 多職種で様々な視点でプログラムの立案を行っている。 休業日はイベント等も行っている。 個々の利用児の状況に応じたプログラム立案が行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を設定して支援しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> 利用時間に応じたプログラム設定を行っている。 長時間利用時でしか行えないワーク（課題）もおこなっている。 長期休暇時はイベントも行っている。

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・児発管を中心に作成している。 ・一人一人の利用児に応じた計画が出来ている。
	15	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝礼で前回の振り返りを行い、その日の支援内容、役割分担を決めている。 ・午後からのスタッフには口頭で都度伝えるようにしている。 ・引継ぎノートを用意して情報共有を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの送迎後にいる職員間で振り返りを行っている。 ・早上がりの職員とは次回勤務時に情報共有を行っている。 ・その日の振り返りの際、チームで問題点を共有出来ている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・アプリを活用し、記録をとると共に、保護者と支援を共有しながら次の支援に繋げている。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・児発管を中心に行っている。 ・日々の支援状況を都度共有し、必要時に見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	7			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有は行えているが、もう少し多くてもいいと思う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師がいない為、医療的ケア児の受け入れは行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・利用前の訪問や引継ぎ会に参加して情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3		<ul style="list-style-type: none"> ・該当ケースについては情報提供や引継ぎ会を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4		<ul style="list-style-type: none"> ・療育センター主催の研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で難しい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	4		<ul style="list-style-type: none"> ・どの会合が自立支援協議会の一部か把握出来ていなかった。 ・児発管連絡協議会には児発管が毎回参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリングや送迎時等、保護者と話をする機会を設けている。 ・連絡帳をアプリ化して活用していることで、日々の様子を細かく保護者に伝えることが出来ている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談に対し、状況に応じてペアレントトレーニングの内容を活用した対応方法も伝えている。 	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・契約時にお伝えしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			・その都度対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	3	・利用児を通じ、保護者同士が繋がったケースがある。 ・コロナ禍で難しい。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			・現在まで苦情は出てきていないが、保護者からの情報についてはすぐに事業所内で共有し、対応を行っている。 ・苦情が出た場合の体制は取れている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		・アプリを活用して日々の様子を写真付きで発信している。 ・長期休暇の際にはイベント予定表を作成しお知らせしている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・利用児の特性に応じたコミュニケーション方法をとっている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	2		・コロナ禍で難しい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2		・職員間での周知は行えている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	3		・行っているが、頻度としては少ない為、今後増やしていく。 ・曜日によって行えていない曜日がある。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・事業所内で研修を実施している。 ・研修だけではなく、日々の業務の中でも一人一人が意識しながら対応出来ている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2	1		・現状では身体拘束を行わないといけない事例が発生していないが、必要時の体制はとれている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1			・保護者から情報を得て対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3	1		・ヒヤリハットがあった際に対応出来る準備は出来ている。 ・ヒヤリハットに繋がるかどうかは分からないが、気になる点はその都度話し合うことが出来ている。